

◇ 新潟市都市計画基本方針 第1章～第3章〔概要〕及び全体構成（素案）

第1章 都市計画基本方針の目的と位置づけ

1. 目的

- ・市の最上位計画である総合計画に掲げる都市像の実現
- ・市民が「暮らしやすさ」を実感できる都市づくりの実践

2. 位置づけ

- ・都市計画法に基づく市の都市計画の基本的な方針であり、総合計画で位置づけられた分野別計画のうち、都市計画によるまちづくり分野を受け持つ基本方針
- ・新潟市総合計画、新潟県の区域マスタープランに即す

3. 基本条件

- 目標年次：本方針は長期的な展望に立った指針となるものであるため、目指す都市の姿としては概ね20年先を見据えます。その前提のもと、目標年次としては2031年度とします
- 人口推移 / ○対象とする区域 / ○都市計画によるまちづくりの基本姿勢

4. 構成

- ・「全体構想」、「区別構想」、「実現に向けた取り組み」の3つで構成

第2章 新潟市を取り巻く状況

1. 新潟市勢の概要

- (1)位置及び地勢
- (2)沿革や各区の個性

2. 新潟市の現状

- (1)人口 【人口 / 世帯数 / 居住誘導区域内人口 / 田園集落 など】
- (2)土地利用 【市街化区域 / DID区域 / 空き家 など】
- (3)拠点 【都心・各区の地価 など】
- (4)公共交通 【公共交通利用者数推移 / カバー人口率 / 交通分担率 など】
- (5)産業 【農家数 / 製造品出荷額 / 小売業の年間商品販売額 など】
- (6)観光 【観光入込客数推移 / 新潟空港利用者数 など】
- (7)防災 【洪水・津波ハザードマップ など】
- (8)都市経営 【公共施設の分布 / 歳入歳出の推移 など】
- (9)その他（新潟らしさ）【水田面積 / 農業算出額 / 保育所数 / 住宅の広さ など】

3. 都市をめぐる動向など

- ①人口減少、少子・超高齢化 【コンパクト+ネットワーク / 都市経営的な視点】
- ②持続可能な都市づくり 【SDGs / 環境問題への配慮（ゼロカーボンシティ）】
- ③グローバル化の進展 【経済のグローバル化/交流人口の拡大】
- ④Society5.0の実現 【ICTの進展】
- ⑤価値観の多様化 【多様なニーズ（働き方・暮らし方） / ダイバーシティ】
- ⑥高まる不確実性 【新型コロナ / 頻発化・激甚化する自然災害 / 変化への適応】
- ⑦都心まちづくりの転機 【拠点性の向上 / 都心から全市へ】

第3章 都市づくりの理念とめざす都市のすがた

1. 都市づくりの理念

- 『持続的に発展する政令市』—都市全体の観点 全市レベルの理念—
- 『誰もが暮らしやすい個性ある地域』—地域の観点 生活圏レベルの理念—

2. めざす都市のすがた

田園に包まれた多核連携型都市 —新潟らしいコンパクトなまちづくり—

※今後、キャッチコピーを委員会で検討（上記は現行計画のまま）

3. 将来都市構造

- 市街地と田園の共生
市街地の拡大を抑制し、田園と市街地の共生関係を将来にわたって維持
- 都市・地域の拠点形成
都市機能を集積し、拠点機能を強化
- 拠点の連携
拠点間を道路、交通ネットワークで繋げ、拠点間・地域間の連携を強化



※イメージ（現行計画から引用）

第4章 都市・地域づくりの方針

- 方針1. 自然・田園と市街地が共鳴する都市 新潟
- 方針2. 個性ある日本海拠点都市 新潟
- 方針3. 地域をつなぐ誰もが移動しやすい都市 新潟
- 方針4. 活力ある産業・交流都市 新潟
- 方針5. 安全で安心して暮らせる都市 新潟
- 方針6. それぞれの地域で質の高い暮らしができる
- 方針7. それぞれ地域の個性を守り・活かすことができる
- 方針8. 快適な住まいで暮らすことができる

※今回議論

※方針ごとに、目標、取組方針、関連するSDGsについて記載



第5章 区づくりの方針

※次回以降議論

各区ごとの構想

第6章 都市計画基本方針の運用方策

計画を実現するためのマネジメント、計画を実現する制度・事業など